

道徳

第1学年

呉市立広南小学校

指導者 T1 山本 美代香
T2 山崎 聖子

主題名

友達を思う心

教材名

二わの ことり (東京書籍)

内容項目

B-10 『友情・信頼』

本単元で育成する資質・能力

思考・表現

協力・協働

1 令和5年 11月28日(火) 第6校時

2 主題設定の理由

- 本学級の児童は、係活動や当番など何事にも興味をもってみんなのために働くことを楽しく感じている。また、困っている友達がいたら駆けつけて手を差し伸べるような優しい面を持っている。しかし、まだ自分中心的で思いを強要したり気の向くままに行動しているようなところがある。けんかやトラブルもありぶつかってしまうこともあるが、学級での生活を共にしながら一緒に勉強したり、仲良く遊んだり、困っている友達のことを心配し助け合ったりする経験を積み重ねることで、友達のよさをより強く感じるようになって欲しい。特に身近にいる友達と一緒に、仲良く活動することのよさや楽しさ、助け合うことの大切さを実感できるようにすることが大切である。

「二わのことり」を通して、みそさざいとうぐいすとやまがらの関係に目を向ける。どちらの家に行くか揺れながらも、1人で寂しく待っているやまがらのことを思い行動に移す。相手のことを思い、行動することの大切さに気づき、自分のことをふりかえりながら友達と仲良くしようとする心情を育てていきたい。

アンケート結果

- ① 友達はいますか。

はい 100% いいえ 0% わからない 0%

- ② 困っている友達がいたらどうしますか。

助ける 88% 何もしない 0% わからない 12%

- ③ 喧嘩をしたとき自分だけでなく、相手の気持ちを考えたことがありますか。

ある 71% ない 29%

- 本主題は、1学年の指導内容B-10「友達と仲良くし、助け合うこと。」をもとに設定したものである。この段階においては、幼児期の自己中心性から十分に脱しておらず、友達の立場を理解したり自分と異なる考えを受け入れたりすることが難しいことも少なくない。しかし、学級での生活を共にしながら一緒に勉強したり、仲良く遊んだり、困っている友達のことを心配し助け合ったりする経験を積み重ねることで、友達のよさをより強く感じるようになる。そして、相手の立場に立って考えるところから信頼が生まれ友情が育ってくる。身近にいる友達と一緒に、仲良く活動することのよさや楽しさ、助け合うことの大切さを実感できるような体験活動をさせることが重要である。また、友達とけんかをして、友達の気持ちを考え、仲直りできるようにする。そのためには、友達と一緒に活動して楽しかったことや友達と助け合ってよかったことを考えさせながら、友達と仲よくする大切さを育てていきたい。対人関係がまだ未熟な1年生ではあるが、相手を思いやり友達をだいにしようとする心情を育てることは大切である。

- 教材について

本教材は、みそさざいとやまがら、うぐいすの3羽の鳥が出てくる。みそさざいは、やまがらから誕生日の招待を受けながら、迷いつつも他の友達に誘われるままうぐいすの家へ来てしまう。しかしさびしく待っているであろうやまがらを思い、途中からそっと抜け出しやまがらの家に行くという内

容である。

指導にあたっては、挿絵を十分に活用し、登場人物の関係や内容を理解しやすいようにする。また、中心発問では、そつとぬけだしてやまがらの家に行ったみそさざいの気持ちを考えることを通して、葛藤しながらも一人ぼっちな友達を思うみそさざいの気持ちを深く考えさせたい。

みそさざいの気持ちを中心に考えるが、一年生にとっては、相手の心情を思いやるよりも、「もし自分がやまがらのように、だれも友達が来てくれなかったら、どんな気持ちになるか。」とやまがらの心情に自分の気持ちを重ね合わせていく方が、理解しやすいと考える。そこで、役割演技は、みそさざい、やまがらの両方を演じさせ、両者の気持ちを考えさせる。そこで、来てくれたことを心から喜ぶやまがらの気持ちや、みそさざいの「来てよかった」という気持ちについて考えさせ、友達の事を考えるよさに気付かせたい。

役割演技では、子ども達が十分に役になりきれるように、教師がやまがら、児童がみそさざいと役割を分けて演じる。そのあと児童二人で会話を進められるようにする。それぞれの気持ちを深く考えさせるために役割演技の前にはワークシートを吹き出し形式にして書かせる。

みそさざいの心の葛藤に共感して、みそさざいの友達を思う気持ちを深く考える事でねらいにせまりたい。また、相手を思う気持ちを通して、友達の喜びが自分の喜びになることにも触れることができるようにしたい。

3 他の教育活動との関連

事前指導	<p>○国語「サラダでげんき」9・10月 病気のお母さんの為に、美味しく元気になるサラダを作るりっちゃん。サラダ作りに協力してくれる動物たちが出てきて栄養がたくさん入ったサラダが出来上がる。周りの協力者の支えに気付く。 りっちゃんとお母さんの為に、サラダに入れると元気になるものを考えお手紙を書く。</p> <p>○安佐動物公園への社会見学では、ルールを守り友達と仲良く見学する。</p>
道徳科	<p>○「二わのことり」 自分たちの友達関係について想起する。教材を読み、葛藤しながらもやまがらの家に行ったみそさざいの優しい気持ちを押し返す。 友達への思いやりが、やまがらの喜びとみそさざいの充実感につながりどちらともが嬉しくなれることに気付く。役割演技を通して、関わりで考える。(やまがらが喜んでくれて自分もうれしい。)</p>
事後指導	<p>○くれチャレンジマッチスタジアムの取組み 練習をもとに、学級の中で助け合い協力して一緒に活動するよさを実感することにより友達を思いやり大切にしようとする心情を育む。</p>

4 本時の学習

(1) 本時のねらい

やまがらの家へ行ったみそさざいの気持ちを考えることを通して、友達の気持ちを考えて、仲良く助け合っていこうとする心情を育てる。

(2) 学習の流れ

	学習活動	主な発問と予想される児童の心の動き (◎中心発問)	指導上の留意点(・) (☆評価の観点)
導入 (5分) 課題意識を持つ	1 課題意識を持つ。 ○友達との生活を振り返って発表しあう。	○いままで、友達がいてよかったなと思ったことはありますか。それは、どんなことですか。 ・転んだ時に「大丈夫？」と言ってくれて嬉しかった。 ・一緒に遊んでくれた。 ・当番の仕事を手伝ってくれた。	・本時のねらいに迫ることが出来る様に友達と仲良く過ごせたことを思い起こさせ、後の小鳥たちの気持ちの理解に繋げていく。
	ともだちと仲良くするために、どんなことが大切だと思いますか。		
展開前段 (25分) 学びを深める	2 教材「二わのことり」を読んで話し合う。	○みそさざいは迷っていたのにどうしてうぐいすの家に行ったのでしょうか。 ・うぐいすの家の方が明るくてきれいだから ・やまがらの家は遠くて寂しいから。 ・音楽会は楽しそうだから。 ・みんながうぐいすの家に行くと言ったから。 ○やまがらさんはどんな気持ちで待っているでしょう。 ・招待したのに誰も来てくれない。 ・どうして来ないんだろう。 ・寂しいな。 ○そっと抜け出してまで、やまがらの家に行くことにしたみそさざいは、どんなことを考えていたでしょう。 ・一人で寂しいんじゃないかな。 ・早く行ってあげよう。 ・行ったら喜んでくれるかな。 ・行ってお誕生日をお祝いしてあげたいな。	・読む前に三者の関連図を表示することで関係を理解しやすくする。 ・うぐいすの家に行ったみそさざいの気持ちを考える。 ・家の様子を対照的に板書し、一人ぼっちのみそさざいの気持ちを考えやすくする。 ・そっと抜け出してに着目させ、うぐいすがわのことも考えて行動していることに気付かせる。

		<p>◎みそさざいとやまがらは、どんなことを思ったでしょう。</p> <p><みそさざい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・来てよかった。 ・喜んでくれて嬉しいな。 ・はじめから来ればよかった。 ・「ありがとう」といってくれて嬉しいな。 <p><やまがら></p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人で寂しかったよ。 ・来てくれてありがとう。 ・これからも仲良くしようね。 <p>○みそさざいとやまがらになっってお話してみましよう。</p>	<p>・教材の会話をもとに、それぞれの気持ちを吹き出しに書くことで、お互いの思いを考えることができるようにする。</p> <p>・役割演技を行い、二羽の小鳥の気持ちを考えさせる。</p> <p>① やまがら (T1), みそさざい (児童)</p> <p>② やまがら (児童), みそさざい (児童)</p> <p>☆友達と仲良くすることの大切さに気付くことができる。(ノート, 発言)</p>
展開後段 (10分)	3 本時のまとめをする。	<p>○ともだちと仲良くするために、どんなことが大切だと思いますか。</p> <p>・一人でいたら遊ぼうと声をかける。</p> <p>・友達が困っていたら助けに行く。</p> <p>・けんかをしたらごめんねという。</p>	<p>・相手の気持ちを考えて行動するという考えがもてるか。</p>
学習したことを振り返る	4 ふりかえりをする。		<p>・ワークシート</p> <p>今日の学習を通して、考えたことを記入し発表する。</p>
終末 (5分)	5 教師の説話を聞く。		<p>・今日の学習で考えたことを今後に生かす。</p>

5 板書計画

